

新しい時代の特別支援教育の あり方を考える

― 強度行動障がいを有する児童生徒への支援を中心に ―



令和7年度『エール』鳥取県発達障がい者支援センター 普及啓発研修

- 日時： 令和7年 **8月3**日(日) 9:50 - 12:30
- 会場： エースパック未来中心 セミナールーム3
(鳥取県倉吉市駄経寺町212-5)
- 費用： 無料
- 申込： とっとり電子申請サービスからお申し込みください
※ 申込期限 令和7年7月7日(月)正午まで
※ 申込リンク先は、裏面をご参照ください

LIST OF TEACHERS



井上雅彦 氏

鳥取大学大学院
心理学講座
教授



加藤典子 氏

鳥取県教育委員会
事務局 参事監
兼 特別支援教育課長



真部信吾 氏

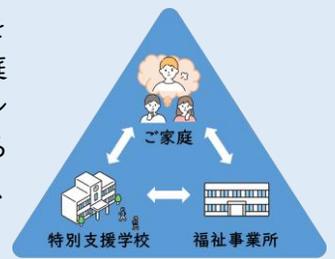
やまぐち総合教育支援
センター
研究指導主事



上田洋平 氏

鳥取県厚生事業団
事務局企画指導課
主事

表のイラストは、ある生徒さんが先生に向けて伝えられた言葉です。自分の気持ちを上手く伝えられないと、物を壊したり他の人を叩いてしまう行動がありました。ご家庭と学校、福祉事業所の3者でご本人の様子を共有し、環境調整とコミュニケーション支援を中心に、統一した支援を行ってきました。それから2年後。生活が穏やかになると、ご本人から「学校は楽しい」という言葉が聞かれるようになりました。家庭と教育、福祉の連携「『トライアングル』プロジェクト」による切れ目のない支援の一例です。



2024年7月の文部科学省事務連絡「強度行動障害を有する児童生徒への支援の充実について(周知)」内で、「教育と福祉の連携」「連携によって研修機会を設けること」等が記載されています。ご本人、ご家族の生活を意識した、「連携」と「専門性の向上」、そして分野間の「相互理解」が求められているのではないのでしょうか。

本研修では、昨年度まで文部科学省で特別支援教育調査官をされていた加藤典子氏から本事務連絡に込めた思いを、また真部信吾氏から、特総研(※)在職時に取り組まれていた「特別支援学校教員の研修プログラム開発」の研究成果を中心に、「連携」や「専門性の向上」等についてお話いただきます。新しい時代の特別支援教育について、有識者を交え、みんなで考える機会になることを期待しています。

※ 独立行政法人国立特別支援教育総合研究所

当日のプログラム：予定

時間		発表者 (●=対談司会)
9:30	受付	
9:50	開会／挨拶	松田 啓生 (エール 所長)
	【前半】 新しい時代の特別支援教育のあり方	
10:00	■ 強度行動障がい有する児童生徒への支援の充実(仮)	30 加藤 典子 氏(鳥取県教育委員会事務局)
11:25	■ 行動障がいのある児童生徒への支援と身に付けてほしい教師の専門性	30 真部 信吾 氏 (やまぐち総合教育支援センター)
	■ 強度行動障がい支援者養成研修の概要説明	15 上田 洋平 氏 (鳥取県厚生事業団)
	休憩 (10分)	
	【後半】 座談会	
11:35	前半部分の総評	10 井上 雅彦 氏 (鳥取大学大学院)
12:20	「みんなで考えよう - 強度行動障がいがあるご家族と学校教育 - 」	35 井上 雅彦 氏、加藤 典子 氏 真部 信吾 氏、上田 洋平 氏 信原 和典 (エール) ●
12:20	閉会／挨拶	小林 一義 (鳥取県障がい福祉課長)

お申し込みの詳細： R7.7.7正午 メ切

下記の項目で検索、または右のQRコードから「とっとり電子申請サービス」にてお申し込みください。

エール 鳥取 普及啓発

(QRコード)



- 申込受付通知メールが届かない場合、お手数ですが、下記『エール』までお問い合わせください。
- 手話通訳者等、何らかの配慮をご希望される方はお申し込み時にご入力ください。
- 本研修の録画・録音・撮影・複製および資料の2次利用、SNS等への投稿は固くお断りします。

【お問合せ】 『エール』鳥取県発達障がい者支援センター (平日 8:30-17:15)
TEL 0858-22-7208 MAIL yell@pref.tottori.lg.jp